

## 生産者の皆様へ

### 登録内容変更についてのお知らせとお願い

## アドバンテージ粒剤（農林水産省登録第15474号）

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、アドバンテージ粒剤は登録作物の削除申請をいたしました（平成26年11月11日）。短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短期間（1日）に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

■ お願い：作物名が削除される作物では使用しないでください。

■ 登録変更内容：作物名から下記作物を削除する。

なす	きゅうり	すいか	メロン
とうがん	だいこん	いちご	ねぎ
かんしょ			

■ 登録変更後の【適用害虫と使用方法】は裏面の通りです。

【本件に関するお問い合わせ先】

日産化学工業株式会社 農業化学品事業部 マーケティング部 TEL:03-3296-8141

## 変更後の【適用害虫と使用方法】（平成26年11月11日 申請内容）

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*		使用方法
				本剤	カルボスルファン剤	
水 稲 (箱育苗)	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ イネヒメハモグリバエ イネハモグリバエ イネゾウムシ	育苗箱 (30×60×3cm 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～70g	移植前3日～ 移植当日	1回	1回	育苗箱の苗の 上から均一に 散布する。
	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 40～70g				
ピーマン とうがらし類	ミナミキイロアザミウマ	株当り0.5g	育苗期後半	1回	1回	株元処理
		株当り1～2g	定植時			植穴処理
さとうきび	コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ メイチュウ類	10 アール 当り	6～9kg	植付時	2回 〔植付時の土壌混和は1回、 培土時の土壌混和及び 散布は合計1回〕	植溝処理
			6～9kg	培土時		土壌混和
き く	ネグサレセンチュウ ミナミキイロアザミウマ	10～20kg	—	3回	3回	土壌混和
		株当り1～2g	植付時			植穴処理